昭和59年3月24日 652号

千代田区のおしらせ

発行 東京都千代田区 〒102千代田区九段南1－6－11☎264－0151(代) 編集 企画部広報課〈毎月5日・20日発行〉

3月15日 区制記念日
区では「教育と文化のまち千代田区」を宣言しました

千代田区では、3月15日の区制記念日に、活気と安らぎのある調和のとれたまちづくりを目指し、「教育と文化のまち千代田区」を宣言しました。

この日千代田区公会堂で行われた千代田区37周年〝教育と文化のまち宣言〟式典では、最初に加藤区長から「優れた教育・文化環境を有する〝わがまち〟に誇りを持ち、魅力あるまちを築き上げる決意を宣言します」とのあいさつがあり、区政功労者の表彰に続いて、未来を担う中学生によって、宣言文の朗読を行いました。

そして、稲垣区議会議長が、「〝教育と文化のまちづくり〟の目標達成のため、執行機関や区民のみなさんと手を携えていきます」とあいさつ。

区民代表による欲びのことばに引続き、一般公募で選ばれた区のシンボルが発表されました。

公会堂での式典後、区役所庁舎前に建てられた千代田区宣言の記念碑である時計塔の除幕が、加藤区長、稲垣区議会議長、船越健二君(デザイン原案入選者)の3氏によって行われました。

＊

宣言の全文および各シンボル、記念碑の紹介などについては、本紙4、5ページをご覧ください。

区のシンボル決定！
木＝まつ
花＝さくら
鳥＝はくちょう

★新年度事業
4つの柱
- 人口対策とまちづくり
- 教育・文化都市宣言
- 区民福祉の向上
- 中小企業・災害対策

第一回区議会定例会始まる

新年度予算
総額209億6,479万円を提案
加藤区長 所信を表明

昭和59年第1回区議会定例会が、3月7日から20日間の会期で開かれ、総額209億6千479万3千円にのぼる新年度予算をはじめとして26件の議案の審議が進められています。

3月7日の本会議で、加藤区長は開会のあいさつを行い、区政運営の所信を述べるとともに、新年度予算に盛込まれた重点事業の内容を明らかにしました。

その要旨をつぎにご紹介します。

★特別区を完全自治体に

現在、特別区制度をめぐる基本問題が大きく提起されています。

昭和五十年、区長公選制の実現以来、特別区は、一般の市に近づいた姿となっておりますが、財政制度をはじめ、依然として完全自治体としては不充分な状態におかれています。この様な状況にあって、都区双方で特別区のあり方について、活発な論議が進められております。このような中で、私といたしましては、自治の原点に立ち返り、地方自治の本旨が達成され得る制度であるべきところであり、それを踏まえ、基本的には、名実ともに「市」の要件を備えることができる方向で、十分論議を尽しながら慎重に対処してまいります。

★『教育と文化のまち千代田区』を宣言

かねてより準備を進めてまいりました『教育と文化のまち千代田区宣言』が区制記念日である来る三月十五日に宣言される運びとなりました。

これまでの区議会をはじめ、関係者のご協力に改めて感謝を申し上げる次第であります。

この宣言は、いうまでもなく、これからの千代田のまちづくりへの基本理念を示すものであり、区民の中に深く浸透し、定着されんことを深く念願するものであります。

★厳しい経済情勢

最近の我が国の経済は、緩やかながら景気の回復過程を歩んでおりますが、その先行きには、なお不確かな要素を残しており、依然として厳しい情勢にあります。

国の昭和五十九年度予算も、内外の政治経済情勢を背景とし、一段と厳しい歳出削減が行われ、地方財政計画におきましても、地方交付税が二年続きの減少となるなどの厳しい財源難を反映し、前年度比で一・七%増えているものの依然として超緊縮型の計画となっております。

また、区財政に極めて大きな影響を及ぼす都区財政調整につきましては、二月二十一日の都区協議会において、合意をみたところであります。

しかしながら、フレーム上での特別区税は減税の影響等により、伸び率は二・四%とかなり減少しているところであり、「基準財政収入額・需要額」ともに伸び率は、前年度を下回るものとなっております。

★経費節減と効率的な財源配分で

新年度予算の編成については、このような厳しい財源のなかで区政の政策課題に対処するため、苦悩の中で施策の選択をし、極力内部努力による経費節減につとめ、効率的な財源配分を行うなど、「活気と安らぎのある調和のとれたまち」づくりの実現を目指したところであります。

★新年度予算の内容

▼人口対策・まちづくり

市街地住宅等共同整備事業の推進、法の改正に基づく本区独自の地区計画策定調査、また別の視点からの人口動向調査等を行い「住みよいまち」づくりを図ります。

▼教育・文化都市宣言

千代田区百話の作成をはじめ軽井沢高原施設、図書館分館・郷土資料室の建設を進めるほか、教育・文化に関する施策の充実を図ります。

▼区民福祉の向上

デイホーム事業の実施、高齢者のしおり発行、被爆者見舞金の支給、小児ガン対策としての神経芽細胞種検査などきめ細かな配慮を行ってまいります。

▼中小企業・災害対策

・中小企業振興

厳しい経済環境を踏まえ、商工行政の柱である商工融資事業の融資目標額の増額・団体融資の新設、商店街近代化事業の助成などを図ります。

・災害対策

都市型災害の防止対策として浸透桝・横断U字溝の設置拡充、災害時給水分配装置の整備、私道排水施設改修助成などを講じて行きます。

★組織整備を行います

千代田区の自治体としての存立基盤を揺るがす夜間定住人口の流出をくいとめ、この潮流を反転させていくことは、区政の緊急かつ重要な課題であります。このため、かねてから人口問題・まちづくりに対応できる執行体制の整備について検討を行ってまいりましたが、このほど成案を得ましたので今回ご提案いたしました。

これは、都市整備部を新設し、人口問題・まちづくりに関する対応力を強化することをはじめとして、全庁的な組織改正を行い、区政全体の組織能力を向上させるように努めたものであります。

住みよいまちづくりのための 組織改正（案）

今、千代田区の人口は減り続けています。

定住人口は、いうまでもなく自治体の構成要素の柱であり、これの減少は、千代田区の伸展に大きな影を投げかけています。

このため区では、当面の課題解決のため、また21世紀へも向けて、新しい千代田のまちづくりを進めることを、重点政策課題として取り組んでおり、このため全庁的な組織改正のための関係条例案を区議会に提出しました。

この組織改正のねらいは、まちづくりの主役である区民のみなさんと共同して、住みよいまちづくりを進めるための執行体制を強化することです。

改正のあらまし

このため、まちづくりに関するハード面の対策を受け持つ、「都市整備部」を新設し、同部に都市計画課、住宅整備課、地域整備課等を配置いたします。

また、同部には、大規模跡地対策や用地関連事務を行う参事ラインの配置を行い、企画部の企画調整副主幹とともに「まちづくり・人口問題」に向けて総合的・多角的に対応していきます。

このほか、区民のみなさんの期待に的確に応えていくため、全庁的な執行体制の整備を行います。

この改正は、4月1日付で行われ、つきの表のようになります。

なお、配置場所等詳細につきましては次号でお知らせします。

問合せ　総務部総務課

●富士見出張所九段下分室の事務は4月から戸籍課で

富士見出張所九段下分室の事務（住民登録や印鑑登録、諸証明の交付など）は、4月から、区役所1階の戸籍課住民記録係で取扱います（九段下分室の名称はなくなります）

問合せ　戸籍課住民記録係

●現行組織

●新組織表

現行組織	新組織表
	企画部 ● 副主幹〔企画調整〕
環境部・防災課	総務部 ● 防災課
区民部・住居表示課（係として）	区民部 ● 区民課
区民部・商工課	● 商工振興課
	● 生活勤労課
環境部・環境課（交通安全関係は土木部管理課へ）	
建築部・都市計画課	都市整備部 ● 都市計画課
区民部・住宅課	● 住宅整備課
	● 地域整備課
	● 副主幹〔地域整備促進〕
企画部	
参事・副参事	参事 ● 副参事
建築部・建築課	建築公害部 ● 監理課
建築部・副参事〔審査会〕	● 建築課
環境部・公害対策課	● 公害対策課
建築部・営繕課	● 建設営繕課
麹町保健所・総務課	麹町神田保健所 ● 衛生課
	● 予防課
教育長	教育委員会 — 教育長 — 次長
教育長	教育委員会 — 教育長

※新組織表は4月からの改正予定にかかわる部・課のみを掲載してあります。

千代田区は3月15日に「教育と文化のまち千代田区を」宣言しました

千代田区は、首都東京の中心に位置し、また、長い歴史と伝統に培われた世界に誇り得る文化的環境と、近代教育発祥の地としての優れた教育環境を目しています。

しかしながら、複雑に変化する現代社会において、私たちをとりまく教育・文化的環境にも、さまざまな問題が生じてきています。

このような状況のなかで、私たちのまち千代田区を今後もより一層住みよい、魅力あるふるさととして発展させていかなければなりません。

そこで、千代田区は「教育と文化のまち千代田区宣言」を行い、区民のみなさんの心のよりどころとして、また、区政運営の柱として位置づけ、みなさんと共に〝活気と安らぎのある調和のとれたまち〟の実現を目指します。

なお、この宣言は有識者懇談会の報告書に基づき、区議会の議決を得て、区民の総意として宣言したもので、ここに、将来に向って発展する魅力ある〝まちづくり〟についての決意と目標を明らかにします。

教育と文化のまち千代田区宣言

わたしたちのまち千代田区は、日本の首都の中心に位置し、近代日本の歴史とともに歩み続け、また近代教育発祥の地として各界にわたる多くの優れた先人を生み、日本の発展の礎を築いてきた。そして、豊かな特色ある産業や江戸以来連綿と引き継がれた江戸っ子気質の個性ある文化といきいきとした生活環境を育んできた。

わたしたちは、ここに生活し、多くの人々と連帯の絆を保つ中で、このまちに誇りと愛着を感じている。しかし、東京の都市構造は日本の経済発展とともに変容し、今までの歴史的環境がこわされ、多くの仲間がこのまちを離れ、地域社会としての人々のふれあいが薄くなり、都市としての活力が失われつつあることにわたしたちは不安を感じている。

わたしたちの千代田区は、これからも首都としての中枢機能と共存し、文化的な都市型産業を育成し、職場と住居の近接を図って都市の空洞化を克服していかなければならない。そして、いきいきとした生活の場、学ぶ場、働く場として将来に向けて新たに発展していくために、わたしたちすべてが、今改めてこのまちをわがまちとして考え、自らの力で心と心のふれあう魅力あるまちに築きあげる決意をし、努力を続ける必要がある。

この魅力あるまちづくりのためのよりどころとして、わたしたちは「教育」と「文化」を考える。

なぜなら「教育」は、わたしたちが、そしてわたしたちの子どもたちが今を生き、未来をより良く生きるための糧であり、「文化」はわたしたちがつくるまちそのものであり、生活そのものであると考えるからである。

この千代田のまちで生活し、学び、働きそしてこのまちを愛するわたしたちすべては、今ここに5つの目標の達成を期し、千代田区を教育と文化のまちとすることを宣言する。

1 わたしたちは、いきいきとした地域生活を取り戻し、居住と職域の調和した、自立的で、文化の香り高いまちづくりを目指します。

1 わたしたちは、地域に根ざした人間性豊かな教育を行い、歴史的に培われた郷土の文化遺産を子どもたちに伝え、次の世代の市民を育みます。

1 わたしたちは、ここに集い、働き、学ぶ人々とともに文化を高め、あらゆる機会と場を通じて、生涯にわたり学び続けます。

1 わたしたちは、首都東京の顔にふさわしい美しい環境を守り、広く世界の人々と交流を図ります。

1 わたしたちは、政策のすべてが文化の視点から見直され、展開されることを求めます。

みなさんで選んだ

千代田区のシンボル決定！

- 区の木＝まつ
- 区の花＝さくら
- 区の鳥＝はくちょう

『教育と文化のまち千代田区宣言』を記念して、千代田区のシンボルとなる「木」・「花」・「鳥」が決まりました。

4歳のこどもさんから90歳のお年寄りまで、580名の方からさまざまな木、花、鳥の候補が寄せられ、中には、在勤・在学者からもたくさんの応募がありました。

応募された方々に対して、厚くお礼申上げます。

シンボルの制定に当っては、選定委員会（委員長＝加藤区長）で、応募のあった各候補の中から千代田区のシンボルとして最もふさわしいものを左記のとおり選びました。

▼区の木＝まつ
▼区の花＝さくら
▼区の鳥＝はくちょう

これらのものは、今後区のシンボルとして永く使用されます。

なお、選ばれたシンボルに応募された方の中から、シンボル毎に抽選し、稲垣秀明さん（「木」）、本多享子さん（「花」）、藤田百合子さん（「鳥」）ほか27名の方を、3月15日の「宣言式」にご招待しました。

区の木＝まつ

▶The Tree of Chiyoda—*Matsu*
(Pine)

まつは、昔から新春を祝う植物として、数百年も生き抜き、厳寒にも緑を失わず、文化と暮しのなかにどっかり根を張り、長寿、節操の象徴として、ひとびとに親しまれている。千代田区内では黒松が大部分で皇居外苑の2,300本を中心に約6,800本の黒松が植えられている。

区の花＝さくら

▶The Flower of Chiyoda—*Sakura*
(Cherry blossoms)

さくらは遠い昔から日本人の心の中に咲き続けてきた花であり、その種類も多く数百種にものぼっている。その中で、東京生れの江戸っ子桜は染井吉野桜で千代田区内の大半を占めており、千鳥ケ淵の700本を初め各所で約5,000本が美しい花を咲かせる。

区の鳥＝はくちょう

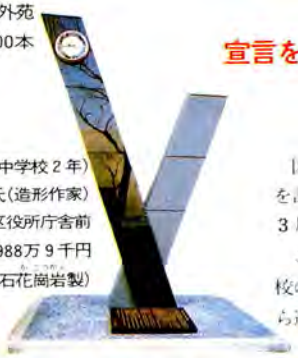
▶The Bird of Chiyoda—*Hakucyo*
(Swan)

皇居の松の緑と石垣を背景に、お濠の氷面に浮かぶ清楚なたたずまい。この白鳥は有志の寄贈によるもので、はるばるドイツからやって来たコブ白鳥である。はくちょうは今や皇居のお濠とは切っても切れない縁で結ばれている。

船越君の喜びのことば

入選と聞いても実感がわきませんでしたが、千代田区宣言を記念して、自分の作品が区役所の前に建てられ、いつまでも残ると思うと、"たいしたことをしてしまった"という気持です。でも、将来、デザイン関係の仕事をしてみたいので、とても良い記念になります。

宣言を記念し千代田の"現在（いま）"を刻む時計塔を建立



▶原案＝船越建二君（区立九段中学校２年）
▶制作＝西田明未氏（造形作家）
▶設置場所＝千代田区役所庁舎前
▶作成費用＝総額988万９千円
▶規模＝高さ約４ｍ（大理石花崗岩（みかげいし）製）

区では、『教育と文化のまち千代田区宣言』を記念して、区役所庁舎前に時計塔を建て、3月15日に除幕式を行いました。

この時計塔のデザインは、昨年、区立中学校の生徒を対象に募集し、応募100点のなかから選ばれたものです。

★宣言を記念し区民の方々の歓びのことば

3月15日に行われた千代田区37周年〝教育と文化のまち宣言〟式典で披露された、区民の方々の歓びのことばの要旨をご紹介します。（発言順）

千代田区立小学校ＰＴＡ協議会会長　藤岡貞雄氏

千代田区は戦後今日まで、めざましい発展をしましたが、失ってきたものも沢山あります。文化的環境や遺産、ひととひととのふれあいなどを次代に残していかなければならないので、この宣言を契機に、この千代田区をさらに愛し、さらに高めていきたいと思います。

千代田区文化協会会長　井上正澄氏

宣言は特に難しいことを言っているのではなく、私たちが健康にしてかつ充実した日常生活を送ることを目的にしていると思います。今後も、日常の生活や趣味を豊かに楽しいものにし、宣言文にもある通り、〝すべてを文化の視点から見直す〟という力強い心構えが必要だと思います。

番町出張所地区連合町会会長　南山金太郎氏

良好な環境のもと、明るく住みよい社会を築くことは、すべてのひとの素朴な願いです。千代田区が長い歴史と輝かしい伝統を踏まえ他区に先がけて宣言をしたことは、誠に時宜を得たもので、私達の大きな喜びです。人間中心の都市の建設へ向けて、さらに発展、充実されることを固く信じています。

おしらせ

保健所だより

乳幼児健康相談

とき 4月26日(木)、5月24日(木)、午後1時30分～3時
ところ 麹町保健所
内容 乳幼児の診察、身体測定、保健指導、栄養指導
申込み 希望者は当日直接会場へ

精神衛生相談（予約制）

家庭や職場での精神上の悩みに、専門医が相談に応じます。
とき 4月27日(金)、5月25日(金)、午後1時30分～3時
ところ 麹町保健所
定員 3名（先着順）
申込み 麹町保健所☎212—7814

栄養相談（先着順）

とき 4月27日(金)午後1時～4時
ところ 神田保健所
対象 食事療法を必要とする区内在住・在勤者で5名
申込み 神田保健所☎291—3641

春の定期予防接種

神田保健所では、三種混合ジフテリア、百日せき、破傷風）と小児まひ生ワクチンの春の定期予防接種を、左表のとおり実施します。
とき・ところ それぞれ午後1時30分から3時まで、神田保健所で
問合せ 神田保健所予防課業務係☎291—3641

●春の定期予防接種の日程

種別		実施日	対象者
三種混合	第1期 1回目	4月11日(水)	昭和56年10月1日から57年3月31日までの出生者
	第1期 2回目	5月16日(水)	
	第1期 3回目	6月6日(水)	
	第2期	7月4日(水)	昭和55年10月1日から56年3月31日までの出世者で58年春の第1期完了者
小児まひ	1回目の方	5月23日(水)	昭和58年7月1日から58年12月31日までの出生者
	2回目の方	4月18日(水)	昭和58年1月1日から58年6月30日までの出生者
	予備日	5月23日(水)	上記の日に受けられなかったひと

㊟三種混合　第1期の予備日は7月4日(水)です。

※なお、麹町保健所管内の定期予防接種については、決り次第、区のお知らせ』でお知らせします。

児童館だより

一番町児童館☎230—0866

春一番、こども劇場 3月27日(火)午後3時から 映画会、キャプテン
四番町児童館☎234—3084
クラブ員の募集！ 4月から演劇・卓球・工作・幼児・手芸・料理クラブの各クラブ員を新たに募集します。くわしいことは児童館へ
神田児童館☎253—6021
映画会 3月30日(金)午後2時から「あしたのジョー＝2」
人形劇 3月31日(土)午後2時から「しりたがりやゾウさん」＝劇団ブーク公演

富士見児童館☎262—0631

春休みに本をよもう 西神田児童館の図書室には、絵本、童話、小説、そのほかこどもむけのものから子育てに関する保護者むけの本など、たくさんあります。貸出し期間は1週間で、ひとり2冊までです。ご家族でご利用ください。
富士見児童館☎262—1040
幼児グループ募集 4月18日(月)午前11時～11時45分に申込み受付。4月1日現在で2歳以上のお子さんが対象。くわしいことは児童館へ

春の千代田区交通安全運動

4月6日(金)～15日(日)

やさしさと思いやりのある運転を

- こどもとお年寄りの交通事故を防ごう
- 二輪車の安全運転 ヘルメットを着用しよう
- 車線を守りましょう
- 無謀運転をなくそう

昨年の都内の交通事故件数は、32,877件で前年に比べて大幅に増加しています。特に死者数は414名と2年続けて400名を超えています。また、死亡事故の発生状況をみると若年層とお年寄りの事故が増加しており、若年層の事故は二輪車によるものが目立っています。

富士見福祉会館☎262—1045

皇居周辺歩行訓練
とき 4月8日(日)午前9時、竹橋毎日新聞社前集合（雨天中止）
コース 皇居周辺＝毎日新聞社前～代官町通り～千鳥ヶ淵ガーデンロード～靖国神社～富士見福祉会館
対象 心身障害者と家族
申込み 富士見福祉会館へ
映画鑑賞会
とき 4月8日(日)午後1時30分から
上映作品 「男はつらいよ＝浪花の恋の寅次郎」＝主演＝渥美清、松坂慶子・倍賞千恵子＝
対象 心身障害者と家族
※聴覚障害者向けの字幕入りです。

老人福祉センター☎265—3981

運動会の相談会
センターでは、6月上旬に運動会を予定しています。相談会を開いて準備をすすめていきますので、有志の方どうぞご参加ください。
とき 4月12日(木)から毎週木曜日、午後2時から
浪曲寄席
とき 4月15日(日)午後1時30分から
出演 わかの浦三月氏ほか愛浪会のみなさん
外題 鶏竜透

募集します

あなたも"手話"を習いませんか

手話講習会（初級クラス）
社会福祉協議会では、ボランティアコーナーを設けてボランティア活動の相談やボランティアの育成を行っていますが、ことしは、初心者を対象とした手話講習会を開催します。
手話を習ってみたい方、関心のある方はぜひご応募ください。
期間 5月1日(火)から来年4月23日(火)までの毎月第1・2・3・4火曜日、延48回
時間 午後1時30分～3時30分
ところ 九段社会教育会館
受講料 無料（ただし、テキスト代などは自己負担）
対象 区内在住・在勤者（年間を通じて参加できるひと）
募集人数 40名（申込み多数の場合は区民を優先）
申込み・問合せ 往復ハガキに住所、氏名、年齢、電話番号、勤務先（名称、所在地、電話番号）を記入して、4月14日(土)までに届くように、千代田区社会福祉協議会（〒102千代田区九段南1—6—11☎262—5844）へ。

分別収集にご協力を！

分別ゴミとは、不燃物「金属製品・陶磁器・ガラス製品・その他（乾電池、蛍光管、電球など）」および焼却不適物「プラスチック製品・皮革製品・ゴム製品など」をいいます。
分別ゴミは、必ず週1回の分別収集日に、ゴミ容器に入れて出してください。指定日以外は出さないようにご協力をお願いします。
なお、スプレー缶は穴をあけ、また、ガラスの破片や針、ハサミなどは危険のないように、出してください。
問合せ
・麹町清掃事務所 ☎234—2241
・神田清掃事務所 ☎251—0566

寄付

老人福祉のために
帝国劇場3月公演観劇券250枚
全国旅行業協会東京都支部殿

4月から『歯科休日診療』を新たに実施

これは、日曜、祝日および年末年始の休日にも、歯科診療が受けられるものです。
診療施設は各歯科医院が当番制で行い、1休日につき区内1か所です。
診療時間は午前9時から午後5時までです。
各休日の当番医は「区のおしらせ」毎号に掲載するほか、区内の掲示板にポスターを掲示します。
受診する際には、健康保険証、医療証などを持参してください。
当番医の紹介は、区役所、出張所でも行います。
問合せ 休日診療に関することは、保健衛生部保健課保健予防係へ。

区では、4月1日の日曜日から、歯科医師会の協力を得て、急病患者のための『歯科休日診療』を新たに実施することになりました。

4月の歯科休日診療

診療時間 午前9時～午後5時

1日	伊東歯科医院	☎261-5021	西神田3-7-7 文洋ビル2F
8日	伊東歯科医院	☎291-8345	神田小川町2-1
15日	伊藤歯科医院	☎831-8657	外神田5-4-8
22日	石渡歯科医院	☎293-8218	神田神保町1-15 八森ビル
29日	出光歯科医院	☎866-2005	神田和泉町1-1 本間屋ビル
30日	内山歯科医院	☎254-0847	神田須田町1-26 SANAビル

4月の休日診療当番医

（内科 小児科）

診療時間：午前9時～午後10時　昼印は午後5時まで 夜印は午後5時～10時

1日	小川医院	☎261-1413	飯田橋1-10-7
	同和病院	☎251-2141	神田淡路町2-8
8日	桑沢クリニック	☎262-0011	麹町ハンフィー町4-4 クビル
	中谷医院	☎866-0796	東神田1-4-7
15日	山梨医院	☎261-2809	九段北1-7
	加賀小児科医院	☎291-9951	神田神保町1-35
22日	野田医院	☎261-4117	一番町10-16
	田崎医院	☎866-3058	神田佐久間町2-13
29日	滝医院	☎264-3101	九段南4-3-1
	昼一ツ橋診療所	☎262-2802	神田神保町3-1-6
	夜同和病院	☎251-2141	神田淡路町2-8
30日	大森胃腸科	☎234-6226	隼町2-15
	同和病院	☎251-2141	神田淡路町2-8

・健康保険証と健康手帳（70歳以上の方など）を必ずお持ちください。
・受診するときは、あらかじめ電話で問合せてください。
・休日診療についての問合せは、いつでも区役所か出張所へ。

救急 夜間・休日の急病、歯科診療は

夜間や休日に急病になったときは、つぎのところへ連絡してください。病院などを紹介します。

消防庁テレホンサービス ☎212-2323

東京都衛生局夜間・休日案内所
夜間（午後5時～翌朝9時）☎216-4828
休日（午前9時～午後5時）☎216-4820

青果物消費者サービスデー
4月5日(木)・19日(木)
青いノボリの八百屋さんで

豚肉の消費者サービスデー
4月13日(金)
赤いノボリの肉屋さんで

魚の消費者サービスデー
4月11日(水)・25日(水)
濃紺のノボリの魚屋さんで

近代教育発祥の地＝
教育と文化のまち千代田区

華子妃殿下をお迎えして 麹町幼稚園の100歳を祝う

3月10日、区立麹町幼稚園の100歳を祝う〝お誕生会〟（記念式典）が、常陸宮華子妃殿下をお迎えして、行われました。

式典には、児童をはじめ多くの関係者が集い、華子妃殿下からも、「これからもじょうぶになって、おともだちとなかよく、げんきにあそんでください」とのお祝いのおことばをいただきました。

そして、妃殿下は、園児らの手による作品や同園100年の歴史をたどった資料展をご覧になられました。

このあと、校庭で、園児らからプレゼントされた風船をご一緒に大空に向けて放され、いつまでも、風船のゆくえを見つめていらっしゃいました。

※

区内の幼稚園のなかで、明治に開園したものは、麹町（明治17年）のほかに、富士見（同20年）と番町（同22年）がありますが、特に麹町は、現存する公立幼稚園としては、全国でも一番古い幼稚園です。

一方、区立麹町小学校も来年、創立110周年を迎えるため、この日、幼稚園と併せて記念式典を盛大に行いました。

なお、近代教育発祥の地でもある千代田区内で、創立100周年を迎えている区立小学校は、麹町小学校を含めて7校あり、区内14校中半数の学校が100歳をすでに過ぎています。

千代田区の文化財

文化財保護条例

4月からの施行を控えて　最終回

文化財を保護していく上で、最も大切なのは、みなさんの理解と協力です。これがあれば文化財保護は、決して難しいことでも、面倒なことでもありません。

文化財というと、建造物や美術・工芸品、あるいは古墳・都城跡などにとらわれがちですが、前にも述べたように、身の回りにある生活用具などにも、目を向けることも必要です。

みなさんの家で、おとしよりが使っていた物や、以前使っていたが、今では物置の片隅に追いやられてしまった物もあるのではないでしょうか。

それらの物は、その時代を知り、生活様式の移り変りを知る上で貴重な資料となる物です。

つまり、現代の文化はこれら古い物が基礎になって生れてきています。これはまさに、文化財といえるものです。

千代田区は、土地の有効利用を計るためなど、早くから都市化が進み、それに伴い、私たちの生活様式も科学・技術の進歩で年々便利で新しくなっています。しかし一方では、昔使われていた生活用具のこと、あるいは街の様子などを知ることは、困難になっていることも事実です。

教育委員会では、みなさんの家で不用になった物で、区を知る上での貴重な資料となるものなどを集め、大切に保存し、後世に伝えることを考えています。

また、個人で大切に保存している事も重要ですが、文化の象徴となる文化財は、より多くのひとの目に触れることで、これからの文化創造の力にもなります。

民俗文化財となる物で不用なものがある、こんな古い話を知っている、あるいは、文化財について知りたいなど、どんな事でも結構です。ご連絡ください。

千代田区の文化発展に、みなさんのご協力をお願いします。

連絡先・問合せ先　社会教育課文化財係（九段社会教育会館☎234―2841）まで

民俗文化財　寄贈

ありがとうございます

・匁秤
神田紺屋町37　**斉木喜一郎様**

・台秤・摺鉢・包帯巻機他15点
富士見2―2―15　**熊倉幸男様**

3月15日、16日に表彰された各界功労者と優良従業員の方々

千代田区37周年〝教育と文化のまち宣言〟式典が、3月15日、千代田区公会堂で行われました。

式典では、区政のいろいろな分野で功労のあった309名の方と4団体が表彰されました。

また、翌16日には、区内の商店や事業所などに勤めている従業員324名の方が、優良従業員として表彰されました。

千代田区37周年記念で表彰された方々（敬称略）

●特別区政功労者

前千代田区議会議員　村瀬正市
同　栗林松平

●区政功労者

千代田区議会議員　佐藤義明
同　菅沢林
同　濱田鎭雄
商工相談員　牧野孝治
同　西角清忠
同　満処昭一
教育委員会委員　紙谷武
法律相談員　池田一
同　堀場正直
交通相談員　松村英勢治
教育相談室講師　山本和郎
主任教育相談員　岡野昇
同　和田一夫
同　山口宗秋
高額寄付者　阪倉栄之助
同　大島義和
高額寄付者　勝田浩一
同　立岩邦男
同　飯塚健治
同　西神田小学校創立八十周年記念協賛会
同　一橋中学校改築事業協賛会

●町会自治功労者

永田町二丁目町会会長　樋口宗雄
霞が関三丁目町会会長　須丹礼アーネスト
平河町二丁目町会副会長　中山準三
隼町町会副会長　古村昭
麹町一丁目町会副会長　石川吉正
麹町一丁目町会副会長　渡辺修
麹町二丁目町会副会長　小池恭一
麹町二丁目町会副会長　押田皎
麹町三丁目町会副会長　浅野彦一郎
二番町町会会長　松沢猛
三番町町会副会長　関口三郎
九段二丁目町会会長　高橋一郎
神保町一丁目町会副会長　大木正男
神保町一丁目町会会長　水野浦治郎
北部町会会長　外山雄一郎
神保町一丁目北部町会副会長　砂塚一栄
北部町会副会長　立羽米太郎
北神町会副会長　鈴木誠一
同　金子俊雄
神保町二丁目町会副会長　小林一四
西神田町会会長　白井行雄
西神田二丁目町会副会長　小松富男
一神町会会長　菅沢林
一神町会副会長　保田五郎
駿河台西町会副会長　藤本健
錦町三丁目町会副会長　中沢みき
小川町北部二丁目町会長　森田実
小川町北二町会副会長　鳥飼正二
司一町会副会長　栃木義夫
司町二丁目町会常任理事　桐谷弥一郎
内神田鎌倉町会副会長　中村春雄
多町一丁目町会副会長　稲垣政
多町二丁目町会副会長　松下一雄
神田鍛冶三町会相談役　宇野よしゑ
駿河台東部町会会長　小澤清治
駿河台東部町婦人部長　中村まさ
須田町一丁目南部町会副会長　角地作次郎
須田町北部町婦人部長　竹内昱枝
淡路町一丁目淡路町会副会長　麦島彦一
淡路町一丁目会副会長　石原日出男
外神田一丁目万世橋会長　小林徳譽
外神田旅籠町会副会長　角田実
外神田同朋会会長　石塚歳一
外神田五丁目亀住町会会長　横尾清一
鍛冶町一丁目鍛冶町会副会長　桟敷勇
鍛冶町二丁目　齋藤秀信
昭和町会副会長　木村榮一
北乗物町会副会長　嶋崎長次郎
紺屋町（南）町会会長　高井盛三郎
須田町二丁目町会副会長　花田義男
岩本町三丁目町会会長　加藤久敏
岩本二松枝町会副会長　安孫子豊修
東紺屋町会会長　坂井一衛
岩本町一丁目町会副会長　山中猪太郎
東神田豊島町会副会長　加藤金治
佐久間町一丁目町会副会長　阿部正
佐久二平河町会副会長　籠谷竹雄
佐久間町四丁目町会副会長　昆正八
佐久間町四丁目婦人部長　中山あみ
練塀町町会副会長　岡村喜作

●教育功労者

〔学校保健衛生〕

錦華小学校内科医　那須元信
西神田小学校耳鼻咽喉科医　丸山正夫
芳林小学校内科医　佐藤忠男
淡路小学校歯科医　堀越和子
今川小学校歯科医　小熊朝秀
芳林小学校歯科医　長谷川正弘
番町小学校薬剤師　荻村昇
永田町小学校薬剤師　新庄千枝子
今川中学校眼科医　吉本光久
麹町中学校歯科医　中山順弘
一橋中学校歯科医　小笠原和義
九段中学校薬剤師　大村政敏

〔社会体育〕

千代田区体育指導委員　秋山洋子
スポーツ開放指導員　三須徳次
同　鈴木俊樹
同　隠岐孝治郎
同　西角清忠
同　熊井実
軟式野球連盟会長　佐丸芳治
千代田区軟式野球連盟理事長　渡会為一
千代田区軟式野球連盟副理事長　等々力寛
千代田区少年野球連盟理事長　戸島照雄
千代田区少年野球連盟副理事長　藤村量作
千代田区スキー協会長　佐藤袈裟男
千代田区剣道連盟会長　星野一雄
千代田区剣道連盟副会長　鈴木一
千代田区剣道連盟副理事長　田口幸一
千代田区柔道会副会長　佐藤次正
千代田区柔道会長　松山仲男
千代田区狩猟連盟会長　白井正次
千代田区狩猟連盟副会長　猪俣勇
同　田村栄朗
千代田区アーチェリー協会会長　松島康男
千代田区立総合体育館指導員　生田一恵
同　守屋行輝
同　林浩
同　白坂隆男
同　中山栄一
同　佐貫棟造
同　村田節夫
同　門馬恒雄
同　鈴木庄一
同　安斎健志
千代田区青少年委員　矢島俊雄
同　武政芳則
同　渡辺渡
同　山口光弘
千代田区郷土資料調査員　渡辺修
千代田区少年少女団体指導者連絡協議会副会長　小野寺番
千代田区少年少女団体指導者連絡協議会理事　越塚真行
同　八木孝三
同　熊倉幸男
海洋少年団副団長　荒井怜子
同　渡辺善一郎
海洋少年団団長　原順一
同　渡辺久代
千代田区海洋少年団副団長　酒井具之

千代田少年団副団長　田中昭正
千代田ジュニアスキー・スポーツ少年団指導員　土屋十二
海洋少年団指導教官　加藤英治
同　篠原孜
同　中川喜雄
ボーイスカウト千代田第一団カブスカウト隊隊長　菅沼雪枝
ボーイスカウト千代田第四団副団委員長　斉藤弘一
ボーイスカウト千代田第六団副団委員長　井沢雄蔵
千代田区婦人学習グループ連絡会座務　山梨礼子
千代田区婦人学習グループ連絡会会計　黒政房子
同　河野明子
千代田区婦人学習グループ連絡会連絡委員　佐宗テル
同　鈴木節
社会教育指導員　田中榮一
成人講座講師　塚原稔
青年講座講師　池田良枝
日曜青年教室副主任　木野孝雄

〔私学振興〕

池坊お茶の水学院事務局長　木村誠
学校法人東京法商学院理事長　及川久人

●商工観光功労者

〔商工〕

千代田区商店街連合会副会長　青木寅吉
同　斉藤嘉一
千代田区商店街連合会理事　城井健介
千代田区工業団体連合会副会長　早川護正
千代田区工業団体連合会監事　大森満蔵
神田紳士服専門店組合理事　森和夫
神田米穀商組合役員　宮木利夫
同　佐志田和男
東京都食肉環境衛生同業組合支部役員　太田定太郎
東京都食肉環境衛生同業組合神田支部役員　伊東栄一
東京都青果物商業協同組合同組合員魏町支部役員　小林光雄
東京都青果物商業協同組合同組合員魏町支部役員　吉田勇次郎
東京都魚商業協同組合魏町支部役員　高橋茂

東京都魚商業協同組合神田支部役員　岩下道子
経営講習会講師　五頭唱吉

〔観光〕

千代田区観光協会顧問　渡辺武次郎
将門太鼓設立代表者　米山穂積

●社会福祉功労者

民生・児童委員　笹川初子
同　戸田武雄
同　伊東俶子
同　河邊政雄
同　萩原慎一
千代田区保護司会会長　小笠原正次
千代田区保護司　紙谷武
同　小芝経裕
更生保護婦人会会長　曽根てう
千代田区更生保護婦人会理事　奈良よし
同　金澤澄子
千代田区心身障害者共助会副会長　久保忠義
千代田区心身障害者共助会常任理事　木邑達司
千代田区心身障害者共助会総務部副部長　岡田貫伍
千代田区心身障害者共助会総務部副部長兼会計　鈴木ミトリ
千代田区心身障害者共助会厚生部副部長　丸山鷹男
千代田区心身障害者共助会言語聴力障害部副部長　松村淳造
友愛訪問員　多田五郎
同　鈴木ハツヱ
魏町長寿会会計監査　中村杉野
富士見地区長寿会会長　石坂トメ
富久寿会会長　細江武子
神保町地区長寿会副会長　野澤三吉
神田公園地区長寿会副会長兼会計監査　渡邊勢七
万世橋菊寿会常任理事　小林敏枝
和泉橋菊寿会常任理事　角地幸蔵
丸の内地区青少年補導連絡会委員　伊藤弘
魏町青少年補導連絡会委員　小林實榮子
魏町地区青少年補導連絡会委員　斉藤うめ子
同　鈴木元子

魏町地区青少年補導連絡会委員　福地貞子
神田地区青少年補導連絡会委員　坂井軍治
万世橋地区青少年補導連絡会委員　塩味政一
同　木村あさ
千代田区遺族会会長　田中喜八
千代田区遺族会婦人部長　加賀あい
自立更生者　小松きみ
同　伊藤金己
同　兼古友二郎
同　井沢雄蔵
同　宮西惟道
同　戸田武雄
同　伊東俶子
同　河邊政雄
同　萩原慎一
同　白土吉千代
同　牧野登
同　長塩芳子
同　松村圭喜
同　鈴木吉太郎
同　高田正市
同　鈴木春夫
同　早川善通
同　松橋英一
同　横田安太郎
同　水野民也
同　小澤清治
同　笹山森栄美
同　井上綾子
同　小枝子
同　安部金次郎
同　塚田静子
同　宮田直七
同　村山孜
同　高野文一
同　藪内利雄
同　高橋純太郎
同　武田武雄
同　上田勉
同　武内優幸
同　土屋隆
同　斉藤茂光
同　井敏江
同　原田勇次郎
同　白土清
同　石井信一
同　寺田正夫
同　案浦雅晴
同　森享次
同　北村幸子
同　飯島康司
同　中山俊朗
同　道塚主税
同　小平健治
同　石井敏生
同　榎田喜久男
同　杉田忠
同　新藤寛
同　丸山精一
同　池村守久
同　藤井敏江
同　岩館均
同　原田勇次郎
同　白土清
同　江之本俊明
同　松沢俊雄

●事務事業協力者

統計調査事務協力者　石井藤蔵
同　桑原慶一
同　小林徳譽
同　高梨信一
同　小林あい
同　横田英悦
同　砂子トミ
同　志田英悦
同　磯部守
同　寺田由孝
同　中島稔
同　中山康一
同　小倉豊隆
同　永倉豊隆
魏町地区保健衛生協力委員　高橋純太郎
同　藪内利雄
同　伊藤正七
同　寺井歳子
同　本木弘夫
同　鈴木吉太郎
同　高田正市
同　鈴木春夫
同　早川善通
同　松橋英一
同　横田安太郎
同　水野民也
同　小澤清治
同　笹山森栄美
同　井上綾子
同　小枝子
同　安部金次郎
同　塚田静子
同　宮田直七
同　村山孜
同　高野文一
同　藪内利雄
同　高橋純太郎
同　武田武雄
同　上田勉
同　武内優幸
同　土屋隆
同　斉藤茂光
同　井敏江
同　原田勇次郎
同　白土清
同　石井信一
同　寺田正夫
同　案浦雅晴
同　森享次
同　北村幸子
同　飯島康司
同　中山俊朗
同　道塚主税
同　小平健治
同　石井敏生
同　榎田喜久男
同　杉田忠
同　新藤寛
同　丸山精一
同　池村守久
同　藤井敏江
同　岩館均
同　原田勇次郎
同　白土清
同　江之本俊明
同　松沢俊雄

選挙事務協力者　藤村ヤエ
同　高橋茂
同　阿部英夫
同　川上茂夫
同　星野知子
同　松本悦子
同　森田稔
同　山口喜男
同　平野秀男
同　小倉得明
同　亀田秀司
同　佐藤勝吉
同　中沢順一
同　長谷川トシ
同　佐藤美左江
同　下舘康子
同　池田恵子
同　鈴木津谷子
同　森田稔
同　松本悦子
同　今成芳枝
同　亀田秀司
同　小倉得明
同　平野秀男
同　森田稔
同　山口喜男
同　松本悦子
同　星野知子
同　斉藤弘
同　斉藤光
同　加藤勝
同　中西久郎
同　小林茂
同　川上茂夫
同　留分起工夫
同　加藤勝
同　中西久郎
同　小林茂
同　斉藤光
同　橋本好三
同　斉藤弘
同　小林茂
同　川上茂夫
同　留分起工夫
同　加藤勝
同　中西久郎
同　小林茂
同　斉藤光
同　橋本好三
同　斉藤弘
同　小林茂
同　川上茂夫

●保健衛生功労者

千代田区医師会理事　松本正美
同　杉村公美
神田医師会理事　平野良雄
公衆衛生協力医　山田和子
神田保健所運営協議会副会長　島田正雄
神田保健所運営協議会委員　河邊政雄
公害健康被害認定審査会副会長　守屋美喜雄
公害健康被害診療報酬審査会委員　都築喜市
魏町保健衛生協力会理事　青木稔
魏町保健衛生協力委員　城石茂
魏町地区保健衛生協力委員　浅利勇
同　阿部英夫

千代田機工納税貯蓄組合

●納税功労者

魏町理容納税貯蓄組合組合長　日達正八
帝国ホテルアーケード納税貯蓄組合組合長　宮崎貞光
有楽町納税貯蓄組合長　伊藤弘
東京都青果物商業協同組合魏町支部納税貯蓄組合組合長　河原一義
三番町納税貯蓄組合長　中沢喜勇司
神田板金納税貯蓄組合長　高田正市
神田青色第四納税貯蓄組合長　村利男
豊島町納税貯蓄組合組合長　小林一男
神田青色局申告会会長　天野浩
芝たばこ商業協同組合理事　大橋志げ
神田たばこ商業協同組合理事　大賀秀雄

千代田区保護司会会長　小笠原正次
千代田区保護司　紙谷武
同　小芝経裕
更生保護婦人会会長　曽根てう
千代田区更生保護婦人会理事　奈良よし
同　金澤澄子
千代田区心身障害者共助会副会長　久保忠義
千代田区心身障害者共助会常任理事　木邑達司
千代田区心身障害者共助会総務部副部長　岡田貫伍
千代田区心身障害者共助会総務部副部長兼会計　鈴木ミトリ
千代田区心身障害者共助会厚生部副部長　丸山鷹男
千代田区心身障害者共助会言語聴力障害部副部長　松村淳造
友愛訪問員　多田五郎
同　鈴木ハツヱ
魏町長寿会会計監査　中村杉野
富士見地区長寿会会長　石坂トメ
富久寿会会長　細江武子
神保町地区長寿会副会長　野澤三吉
神田公園地区長寿会副会長兼会計監査　渡邊勢七
万世橋菊寿会常任理事　小林敏枝
和泉橋菊寿会常任理事　角地幸蔵
丸の内地区青少年補導連絡会委員　伊藤弘
魏町青少年補導連絡会委員　小林實榮子
魏町地区青少年補導連絡会委員　斉藤うめ子
同　鈴木元子

●消防団功労

丸の内消防団班長　高橋昭悦
同　菊田末吉
同　五味正文
同　佐藤功
丸の内消防団団員　坂内修郎
同　神田義行
同　梅田一眞
魏町消防団班長　清水耕仁
魏町消防団団員　土屋邦仁
同　田中幸二
同　小野里耕作
同　中島稔
同　漆原正
同　丸山康一

神田消防団副団長　梶間榮一
神田消防団分団長　渡邊新太郎
神田消防団部長　長谷部俊一
同　雨森正次

優良従業員として表彰された方々（敬称略）

ぼたん　小林茂
同　佐々木登
同　田中克己
同　清水英機
同　前田孝史
同　宮間ふき
同　磯谷美津子
同　幾島稔
同　大沢清一
同　北原己一
同　大竹三郎
同　大畑稔
同　難波岩雄
同　平野剛彦
同　五十嵐進
同　桑原美喜男
同　池田茂
同　倉林隆二
同　世安正生
同　斉藤幸子
同　都築利雄
同　星野勇
同　海老原幸子
同　高松文代
同　庄司千代
同　石川一夫
同　小野寺満寿
同　船山茂信
同　長谷川洋一
同　上地広義

矢萩運輸㈱　松沢俊雄
同　江之本俊明
同　岩館均
出版輸送㈱　藤井敏江
能島運輸㈱　新藤寛
三崎運送㈱　池村守久
出版輸送㈱　道塚主税
早船運輸㈱　小平健治
同　案浦雅晴
片桐運送㈱　森享次
出版輸送㈱　寺田正夫
㈲滝商店　石井信一
石橋牛肉店　白土清
㈲愛知屋　榎田喜久男
石橋牛肉店　原田勇次郎
千代田特殊無線㈱　丸山精一
十條電機㈱　中山俊朗
同　飯島康司
同　北村幸子
同　案浦雅晴
大関楼　中村勲
㈱栃木屋　佐藤美左江
同　下舘康子
同　池田恵子
同　鈴木津谷子
同　平野秀男
同　小倉得明
同　亀田秀司
㈱ヤマギワコンサン　㈱松浦真二
ヤマギワコンサン　早坂利子
ヤマギワバーラー　浅見光夫
喫茶むぎ　星名保江
㈱エムケイ　長谷川トシ
ドンキー　佐藤勝吉
同　佐藤勝男
㈱ドンキー　長内昌公示
㈱黒田モータース　松尾勇
同　堀田本店　市川喜男
同　多昌公一
中央無線電機㈱　永澤謙吉
バーバー及川　三谷信義
理容室バーバーミヤケ　鈴木節子
新華飯店王万海　五十嵐美瑛子
理容石井　藤田福次郎

㈱坂上ランチ店　中村芳郎
同　牧山喜嘉
タンゴヤ㈱東京店　西岡千尋
同　三野輝之
㈱チクマテキスタイル　木谷順吉
同　安藤紀義
日本美装工業㈱　片岡国男
㈱丸の内パウリスタ　早川貴美男
㈱二葉亭　小黒君子
亀井堂　矢倉照美
日観玩具ストア　斉藤吉男
錦光堂　荒井美枝子
井桁金網㈱　栗田正一
同　上野賢司
公害健康被害診療報酬審査委員会　藤平時雄
魏町保健衛生協力会理事　高橋隆文
㈲中野敬吉商店　渡辺清司
井桁金網㈱　野村主栄
㈲中野敬吉商店　安藤紀義
井桁金網㈱　片岡国男
㈲中野敬吉商店　早川貴美男
井桁金網㈱　小黒君子
㈲中野敬吉商店　矢倉照美
㈲中野敬吉商店　斉藤吉男
㈲中野敬吉商店　荒井美枝子
井桁金網㈱　栗田正一
同　上野賢司
㈱坂上ランチ店　中村芳郎

井上理髪店　山口俊彦
理容久保田　武田武雄
誠和製本㈱　上田勉
同　武内優幸
同　土屋隆
西村印刷製本㈱　斉藤茂光
同　廣井幸夫
東食興業㈱(㈱かんだ)　滝口達良
㈱小鍛冶　高山房子
㈱石倉商事　田辺政江
片桐運送㈱　須之内周子
出版輸送㈱　安本光夫
三崎運送㈱　相地きよみ
能島運輸㈱　山本美代子
石橋牛肉店　田中千代子
千代田特殊無線㈱　平澤剛
㈲丸岡商事　吉田昌章
㈲蔵善麦　滝口達良
㈲酒井製菓　安本光夫
奈可や　相地きよみ
桃牧舎　田中千代子
㈲セカイ　山本美代子
㈲山田屋　塚本博隆
瑞豊企業㈱喫茶コト　沢井敬悦
㈲喫茶カプチーノ　平澤剛
㈲丸岡商事　吉田昌章
レストランサンサーラ　芦沢義光
純喫茶ウッド　石渡武子
同　吉田昌章
ミナミ無線電機㈱　中村勲
大関楼　中村勲
㈱栃木屋　佐藤美左江
同　下舘康子
同　池田恵子
同　鈴木津谷子
㈱新英紙工所　平野秀男
同　小倉得明
同　亀田秀司
㈲錦光堂　今成芳枝
㈱大岩商店　山口喜男
同　松本悦子
㈱丸孝羅紗店　星野知子
同　森田稔
㈱洋文社　斉藤弘
新村印刷㈱　小林茂
同　加藤勝
同　中西久郎
同　留分起工夫

(株)文化カラー印刷 佐藤昭雄
同 市村久子
杉田屋印刷(株) 阿部幸三
同 横塚晃
同 富田延宏
(株)芝崎 岩崎忠夫
同 安海栄也
同 千葉初矢
奥村印刷(株) 名和美知子
同 佐久間清
同 原道博
同 加藤喜久
(株)加藤文明社印刷所 高松和雄
同 石井小三郎
同 木口元二
同 酒井実
同 佐々木健治
(株)集美堂 渡辺桂四郎
同 塚崎高次
(株)文秀社 島田義男
同 見山武久
岩崎電気工事(株) 矢口勝彦
同 花田弘道
YMCA食堂 新田凌一
同 西坪実
かつ進 野田頭武正
同 四戸亮
同 田島富男
同 内山広則
(株)桜井食品 宮坂洋一
(株)テシコ 表寺隆
同 五十嵐航司
和栄(鶴八経営) 池上とよ子
(株)三慶商店 坂本武彦
(株)いろは 小島照雄

(株)いろは 桧山一也
(有)桔梗屋電機 石井久吉
同 星野喜双児
中華てるよし 田中カズイ
(株)吉川ネクタイ 和田嘉代子
(株)山順 吉沢由紀子
同 本田都
カメラ太陽堂 恩田静江
みかめ寿司 秋沢幸男
(株)文秀堂 望月久
同 金子洋一
(有)ひつじや 依田よし子
岡田スタンプ商会 古澤博
(株)山村マーチャンダイス 井上照夫
京都シルク(株) 大平真希子
ホンコンテーラー 曽慶栄
(株)草土舎 鳥塚和行
清月堂食品(株) 柄本康男
丸之内会館(株) 丸之内精養軒 伊東君江
(株)藤田酒店 小野寺桂士
松本製缶(株) 伊藤正己
同 小林広晃
同 巻島君子
同 野呂健一
(株)カプリ 葛川久
(株)ニュー秋葉原センター 小堀修
(有)大野屋 村上好雄
(株)山吉 間瀬のり子
同 秋田ナガ子
(有)得水軒 庄司文計
(株)伊原ケース 田村豊富
(有)松月庵 岩井忠光
(株)サン・アイドル・三和 塩田房義
(株)洋装社 山田昭夫

石川生造花店 藤田和久
(資)松田育郎商店 佐久間勲
(株)千代田建設 堀内春雄
丸一ゴム工業(株) 嶋田昌二
ナガイ医療器(株) 松田徳治
(名)宮塚商店 山本孝子
(株)佐野龍栄社 木津寿美代
同 西片みつ
(株)天津貿商店 鈴木洋
(株)丸和商店 吉沢正明
読売新聞神保町出張所 文岡俊郎
(有)なかや食堂 酒寄健作
日耐ビジネス(株)ウインカ 梅川敬
(株)市川モータース 石井秀一
岡嶋レース(株) 安田英昭
同 中川定夫
同 森晃造
(株)フロンティー 結城聡一
同 辻益敏
(株)石川ジェンヌ 倉本照夫
同 岸本玲子
ミナミ電気(株) 松岡裕雄
武尾商事(株)クレモナ 安藤誠敏
(資)九重 深見良夫
同 五十嵐梅蔵
同 菊池安智
(有)ハマヤ洋裁 兵藤雄司
同 中村光夫
ローレン(株) 中村八重子
(株)近藤科学器械製作所 田中義明
同 田澤仙一
(株)巌商会 小泉美知男
吉川印刷(株) 岡田ますゑ
(有)ジムキの美笠 堀内武美

(有)ジムキの美笠 相沢克之
(株)アサヨシ 高田洋二
同 谷浩
同 宮本正美
同 岡野寛
同 大島フク
同 前田徳三
三葉工業(株) 大場龍四郎
(有)寿司兼大西商店 徳江彰一
同 三島孝子
水戸部製缶(株) 清水勇
同 佐々木正弘
地球名刺(株) 高橋政男
同 中野正己
中井内張店 古口敏勝
番町丸屋 宮木敏安
(有)巌翠堂書店 富塚弘
石徳螺子(株) 北島一雄
同 大場孝
同 野口豊勝
同 佐藤仁一
(株)田むら 不破尚裕
(株)長瀬商店 長瀬武司
同 望月尚也
(株)イサミヤ 細川潔
同 山崎慶爾

▲特別区政功労者の表彰(3月15日)

▼優良従業員表彰式(3月16日)

(株)イサミヤ 本多博
同 北村茂雄
同 吉野金太郎
同 小野津芳雄
同 浅賀文一
同 小松勇悟
同 高山哲夫
関口修
(有)寿司兼大西商店 中谷嘉之
(有)寿司兼大西商店 栗飯原和夫
佐藤毅宜
地球名刺(株) 和田耕作
古川貴永
(有)井上 熊沢浩
(株)旭堂 大洞是
(株)桜井食品 甘味おかめ 仲与根よしえ
(株)荒波商店 鈴木政吉
(有)堀川印刷所 永井昭政
(有)井上 光野孝
(株)大園社 赤川欽哉
中央冷凍産業(株) 遠藤すみ
神田駐車場(株) 佐々木貞助
滝山商事(株) 山岸弘
同 松下英美子
(有)巌翠堂書店 遠藤竜哉